

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 林裕二研究室内

会長室：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 八尋春海研究室内

学会HP：http://www.hikakubunka.jp/

《会長 巻頭言》

日本比較文化学会会長 八尋春海

会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。私の会長任期もあと半年となりましたので、6年間のことを振り返ってみました。

6年間の中では、やはり新型コロナウイルス感染拡大の影響が最も印象に残っています。全国大会のみならず支部大会も、中止や延期あるいはオンラインやハイブリッド開催への変更を余儀なくされ、主催校の先生方が不測の事態に備えて準備と運営をされました。さぞかし大変だったであろうと察しております。私自身も九州で開催の全国大会をハイブリッドに変更し、支部長を務める九州支部でも沖縄での支部大会を二度にわたり断念しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大は、海外との往来の制限を生じさせ、提携学会との交流の機会が激減してしまいました。地理的には近くにありながら、行き来できないもどかしさが続きました。しかしながら、私はやっと今年の4月に、初めて台湾応用日本語学会の大会に参加することができました。会長になって最初の大きな取り組みが台湾応用日本語学会との交流協定締結でしたので、訪台の喜びもひとしおでした。

本学会の特徴の一つとして、留学生会員の比率が高いということがありますが、コロナ禍であつてもその傾向は維持されており、研究発表でも論文投稿でも留学生の活躍が続いています。その点では本学会への影響は最小限であったようです。このような会員には学位取得後もぜひ会員として残って、さらなる活躍をしていただくことを願っております。



2023年度全国大会会場・北洋大学の広大なキャンパス

《日本比較文化学会第 46 回全国大会・2024 年度国際学術大会開催のお知らせ》

中部支部・大会実行委員長 樋口 謙一郎（栢山女学園大学）

2024 年度第 46 回全国大会(国際学術大会)を、以下の要領で開催いたします。

日時：2024 年 5 月 18 日（土）

会場：栢山女学園大学 星が丘キャンパス（名古屋市千種区星が丘元町 17-3）

大会テーマ：「比較文化学と情報社会：AI 時代の到来を踏まえて」

*大会実行委員長からのメッセージ

比較文化学と情報社会の関係を深く理解し、その影響や意義を探究することの重要性が高まっています。AI 時代の到来を踏まえ、比較文化学の使命や課題、方法も大きく変化する可能性があります。全国大会に国内外の研究者や専門家が集い、研究成果や実践事例の共有と意義深い交流が実現することを祈念しております。どうぞよろしくお願いたします。

*発表募集

全国大会での口頭発表の申込期間は次の通り予定しています。

・2023 年 12 月 1 日：申込開始

・2024 年 1 月 31 日：申込締切

今後、大会関連情報は学会 HP に随時掲載いたします。奮ってご応募の程お願い申し上げます。

《大会報告：日本比較文化学会第 45 回全国大会・2023 年度国際学術大会》

大会準備委員長・北海道支部長 奥村 訓代（北洋大学学長）

2023 年 5 月 20 日、北海道苫小牧市にある北洋大学にて日本比較文化学会第 45 回全国大会が開催されました。当日は、朝から天候にも恵まれ午前中の理事会、シンポジウム「比較文化の原点」においては台湾の協定 2 学会並びに国内 3 支部代表による、それぞれの視点からの熱弁が振るわれました。また午後からは記念特別講演と口頭発表が行われました。

中でも記念特別講演「都市の医療とへき地医療——自らの経験を通して考察する」香山リカ（北洋大学客員教授）は市民一般公開されたので、近隣の多くの老若男女の参加もあり関心の高さが伺われました。その後の研究発表も 8 会場に分かれ合計 54 組の口頭発表が対面およびハイブリッド形式で滞りなく行われました。

話題は、「翻訳・文体」「日本語教育」「日本語文法」「宗教」「哲学」「韓国ドラマ」「西洋文学・日本文学」「英語・英語教育」「音声・音韻論」「学校教育」など多義にわたる大変有意義な発表ばかりでした。参加者のみならず、陰から成功を支援して下さった皆様のご助力にこの場を借りて深く感謝いたしますとともに、発表者各人の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

《編集委員会報告》

編集委員長 中村 友紀

昨今、時流の変化により、学術における様々な基準、共通認識や習慣がかなりのスピードで変わりつつあり、学会誌『比較文化研究』の投稿規程や諸ルールも、毎年何かしら少しずつ変更が加えられています。会員の皆様には、大会時の総会での規程変更のタイミングで、あるいは投稿をご予定される際に、学会ホームページで新たな変更点をご確認くださいようお願い申し上げます。

今回の大会における総会で報告、決定された編集委員会関連の項目は以下の通りです。

1. 2023 年度奨励賞は、該当者なしとなりました。
2. 中部支部編集委員は、澤田敬人先生から樋口謙一郎先生に交代となりました。澤田先生には長きにわたりありがとうございました。

3. 投稿規程第8条（投稿原稿の記載事項にかかわる投稿規程）が修正されました。詳細は下記の総会報告でご確認ください。

《総会報告》

事務局長 林 裕二

2023年5月20日（土）北洋大学にて開催した日本比較文化学会総会の議事録を以下に報告します。

*【報告】

1. 会員の動向：全会員数（2023年5月1日現在）578名
2. 編集委員会：2.1. 2023年度奨励賞該当者なし。2.2. 中部支部編集委員の交代

*【議事】

1. 投稿規程第8条（投稿原稿の記載事項にかかわる投稿規程）の修正：改定5月、施行7月で承認

【修正前】

viii. 和文の場合、論文の最初に、日本語で論文名・著者名・所属機関名を記した後に、同じ順序で英語表記を付し、要旨を200語以内の英文で作成すること。また、英文の場合、英語で論文名・著者名・所属機関名を記した後に、要旨を400字以内の和文で作成すること。

【修正後】

viii. 和文の場合、論文の最初に、日本語で論文名を記した次の行に英語で論文名を付し、要旨を200語以内の英文で作成すること。また、英文の場合、英語で論文名を記した次の行に日本語で論文名を記し、要旨を400字以内の和文で作成すること。投稿原稿には、(1) 1ページ目の氏名・所属機関名、(2) 最終ページ末尾の氏名・所属機関名は記載しない。また、(3) 謝辞（助成等への言及）や(4) 学会等での発表済みである記述なども、投稿原稿には記載しない。投稿時は、原稿に添えて、氏名・所属機関名を日本語・英語両方で記載した別紙を提出する。なお、掲載される場合は、印刷前の書き直し原稿に、上記の(1)、(2)を必ず記載し、(3)、(4)も必要があれば記載する。

2. 英語表示を含めてHPを日英バイリンガル化する件：承認
3. 会員資格（終身会員）を新たに設ける件：会員期間10年、65歳以上、終身会費3万円で承認
4. 研究部会の廃止の件：承認
5. 第46回全国大会・2024年度国際学術大会開催会場及びシンポジウムの件：承認

日時：2024（令和6）年5月18日（土）

会場：椛山女学園大学・星ヶ丘キャンパス（愛知県名古屋千種区星が丘元町17番3号）

運営委員長：樋口謙一郎先生

シンポジウムのテーマ：比較文化学と情報社会：AI時代の到来を踏まえて

今後の全国大会主催支部のローテーションは「中部（2024）→中国・四国→関西→九州→関東」

5. 2022年度会計決算の件：承認
6. 2023年度会計予算の件：承認

* 2022年度決算・2023年度予算報告は巻末（p.8）に掲載しております。

《支部報告》

北海道支部

*【報告】

2023年5月20日（土）に、第45回日本比較文化学会全国大会・国際学術大会を、北海道支部主幹で開催しました。

*【お知らせ】北海道支部総会・支部大会開催

2024年3月上旬に北海道支部総会・支部大会開催予定です。詳細は決まり次第学会HPで発表いたします。

ます。

支部長 奥村 訓代

東北支部

*【報告】東北支部大会

東北支部大会を開催いたしました。開催校、司会担当の先生方には大変お世話になりました。

日時：2023年9月9日(土)

場所：弘前大学 人文社会科学部棟 4階 視聴覚室、演習室 F、Zoom (ハイブリッド)

プログラム

1. 開会のあいさつ 東北支部 支部長 高橋栄作 (高崎経済大学)

2. 研究発表

(会場1：視聴覚教室、Zoom)

(1) 野田 晃生 「ワシーリー・エロシェンコの生涯と教育」

(2) 沈 章文 (東北大学大学院) 「日中対照の視点から見る『だろ(う)・でしょ(う)』の意味変化」

(3) 奴久妻 駿介 (北海道武蔵女子短期大学) 「朝日新聞の記事における『母語』の描かれ方—Brian Barryの平等主義的視点を参考に—」

(4) 呉 美玲 (宇都宮大学大学院) 「中国少数民族の民族的アイデンティティの変容—在日モンゴル人の日本文化との接触によるアイデンティティの変容」

(会場2：演習室 F、Zoom)

(1) 大内 裕太 (弘前大学) 「ピエール=シモン・ラプラス『確率の哲学的試論』研究」

(2) 高橋 栄作 (高崎経済大学) 「津軽弁の音象徴と感覚間相互作用」

(3) 河内 健志 (前橋工科大学) ・高橋 栄作 (高崎経済大学) ・斎藤 隆枝 (帝京大学)
「音読量が英語力に与える影響の検証」

(4) 姚 博怡 (山口大学大学院) 「ネット・ロコミと観光宣伝パンフレットの言語解析による観光地イメージに関する研究」

(5) XIAOYUE CAO (東北大学大学院) 「マスメディアとしてのビデオゲーム—メディア特性の再検討—」

3. 閉会のあいさつ 佐藤和博 (弘前学院大学)

*【お知らせ】

2024年3月に2023年度日本比較文化学会東北支部総会・研究大会を開催予定です。詳細につきましては、後日 Web またはメールなどでご連絡いたします。

*【お知らせ】支部会費納入のお願い

2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日)の支部会費(1,000円)をご入金ください。

【ゆうちょ銀行】

口座番号：総合：10440-32843311 口座名義：日本比較文化学会東北支部

【ゆうちょ銀行以外からの振込用口座番号】

店名：〇四八(読み ゼロヨンハチ) 店番：048 預金種目：普通口座番号：3284331

口座名義：日本比較文化学会東北支部

支部長 高橋 栄作

関東支部

*【報告】2023年度第59回日本比較文化学会関東支部例会

日時：2023年10月1日（日）13:00～17:00

場所：Zoomによるオンライン開催（東京未来大学会議室）

プログラム

・研究発表

- (1) 高橋 強（東海大学）「SDGsを意識した英語教育：グローバル学習 Value ルーブリックの観点から」
- (2) 陳 孟宏（宇都宮大学大学院）「音楽産業の地域社会への展開－2000年代以降のロックフェスを事例に」
- (3) 大江 平和（お茶の水女子大学）『北平香山慈幼院院刊』からみる卒業生のゆくえ
- (4) 王 亜東（宇都宮大学大学院）『民族』という語の用法の日中における独自性
- (5) 長田 元（富山短期大学）「みなとオアシスにおける地域振興の取組みについて－祭り・イベントを中心に－」
- (7) バトスヘ・ウヌビレグ（宇都宮大学大学院）「モンゴルにおける NGO 活動の現状と課題 NGO アカウンタビリティ導入の事前条件について」

*【お知らせ】

次回の例会は12月頃開催する予定です。また2024年3月には例会及び総会を開催する予定となっています。

支部長 高橋 強

中部支部

*【お知らせ】日本比較文化学会第13回中部支部大会

日時：2023年11月26日（日）13:00～16:00（予定）

場所：Zoomによるオンライン開催（浜松学院大学）

詳細は学会ホームページでご確認ください。

支部長 白鳥 絢也

関西支部

*【報告】日本比較文化学会関西支部3例会

日時：2023年3月4日（土）13:00～17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 弘風館33番教室・35番教室

プログラム

1. 研究発表（13:00～15:45）

（弘風館33番教室）

- (1) 佐古 恵里香（京都精華大学）・山内 信幸（同志社大学）「中間言語における『イメージ不足』の要因に関する一考察－日本語母語話者による日本語学習者のことわざイラスト評価と理由の分析－」
- (2) 江 迅（関西大学大学院）「竹内正一『裸木』論一個における〈民族協和〉の建前と本音－」
- (3) バトスヘ・ウヌビレグ（宇都宮大学大学院）「非営利組織（NGO）の活動改善に関する研究－モンゴルの非営利組織（NGO）の資金調達管理を例に－」
- (4) 呉 美玲（宇都宮大学大学院）「内モンゴル自治区東部地域におけるモンゴル語の使用現状－通遼市を事例として－」
- (5) 高谷 由貴（京都橘大学）「トキタラ文における評価的意味の歴史」
（弘風館35番教室）
- (1) 史 蕊（広島大学大学院）「中国における太宰治文学紹介の復活－張嘉林訳『維榮的妻子』に着目し

てー」

- (2) 龐 朝霞 (奈良女子大学大学院) 「中国の社区減災に関する実証的研究」
- (3) 曾 琴 (広島大学大学院) 「中国の大学における日本語学習者は CLIL による授業の学びをどう捉えたか」
- (4) 李 逸飛 (関西大学大学院) 「三島由紀夫『女神』における『秩序』についてーラディゲ『ドルジェル伯の舞踏会』との比較からー」
- (5) 栢山 剛 (鳥羽商船高等専門学校) 「太平洋戦争勃発前における堀悌吉の軍縮政策ー大角人事での失脚過程までー」

2. 講演 (16:10~17:00) 弘風館 35 番教室

曾 秋桂先生 (台湾淡江大学教授・台湾日本語教育学会理事長・淡江大学村上春樹研究センター長)

「AI 技術と協働する文学研究の新しい可能性の開拓ー村上春樹文学研究の体系化を目指してー」

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

* 【報告】 2023 年度日本比較文化学会中国・四国支部研究発表会

日時：2023 年 8 月 5 日 (土)

場所：香川大学、Zoom (ハイブリッド)

2023 年度日本比較文化学会中国・四国支部研究発表会を開催しました。会場には 10 名、遠隔では 17 名の参加者があり、活発な議論がおこなわれました。内容は以下のとおりです。途中一部通信の不具合があり、ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。ご参加いただいた皆様ありがとうございます。

プログラム

1. 講演

松本博雄先生 (香川大学教育学部教授)

「異なる言語で同じ言葉を考えるーイングランド小学校でのフィールドワークからー」

2. 研究発表

- (1) 山元 庸子 (九州大学大学院) 「外国人介護技能実習生の日本語学習ー日本留学経験のある外国人介護士を対象としてー」
- (2) 董 航 (梅光学院大学) 「藤井頼斎と中村惕斎による善導教化の比較検討」
- (3) 野田 晃生 「ソ連におけるワシーリー・エロシェンコ」
- (4) 龐 朝霞 (奈良女子大学大学院) 「中国におけるアンケート調査に基づくコミュニティ防災に関する研究：地域意識とソーシャル・キャピタルの視点から」
- (5) 黄 睿琦 (山口大学大学院) 「琴曲に巻き込まれる朱雀帝ー『私の后』を端緒に」
- (6) 陳 丁シヨウ (九州大学大学院) 「芥川龍之介『三つの窓』論ーその私小説性と自然主義的性格をめぐってー」
- (7) 李 然 (法政大学大学院) 「土居健郎の『甘え』理論再考ー朴俊熙の『拡大志向』説との比較を通じて」

* 【お知らせ】

支部の連絡は主としてメールにておこなっています。9 月 19 日に今年度の三支部合同研究発表会 (12 月 16 日・関西支部) の発表募集のお知らせをお送りしましたが、受け取られていない方はこちらにアドレスの登録がない可能性が高いです。思い当たる方は、学会 HP の「会員サービス」→「問い合わせ」→「入退会・会員情報変更について (あゆみコーポレーション)」のフォームよりご連絡をお願いいたします。

九州支部

*【お知らせ】九州支部大会

以下の要領で実施いたします。他支部会員の発表も歓迎いたします。

日時：2024年2月17日（土）13:00～17:30

場所：西南女学院大学（北九州市小倉北区）

発表申込：2024年1月11日までに九州支部の八尋まで yahiro [アットマーク] seinan-jo.ac.jp

氏名、所属、発表タイトル、10行程度の発表概要を記載して下さい。

*パワーポイントでご発表の方はパソコンをご持参ください。

*発表申込時点で会費（全国及び支部）の滞納がない会員のみ発表が可能です。

*懇親会：4,000円（18:00より小倉駅周辺で実施）

支部長 八尋 春海

《事務局からのお知らせ》

事務局長 林 裕二

現事務局体制で6年目に入りました。学会運営上の様々な事務的な対応や処理などを毎日のようにしております。定型業務が多くを占めますが、新規の対応が必要な課題もあります。対応には至らぬところもあろうかと存じますが、誠心誠意努力してまいりますので、学会員の皆さまのご協力とご支援のほど、心よりお願い申し上げます。

○**会員情報更新のお願い**：住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には、忘れずに会員調査書（＝入会申込書）に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

<日本比較文化学会 ウェブサイト 入会・会員情報変更> http://hikakubunka.jp/?page_id=97

<入会申込書・会員調査書送付先> あゆみコーポレーション（業務委託先）

hikakubunka [アットマーク] a-youme.jp

○**会費納入のお願い**：会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納（学生会員については1年以上）の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。支部会費については、本部事務局ではなく、担当支部への問い合わせをお願いします。支部の運営については、各支部で定めております。

<会費振込情報> 郵便振替口座番号：02570-6-8921 加入者名：日本比較文化学会
振り込みの際には、氏名、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。

《2022年度決算・2023年度予算報告》

2023年度日本比較文化学会 予算			2022年度日本比較文化学会 決算		
科 目	2023年度予算		科 目	2022年度予算	2022年度決算
I 収入の部			I 収入の部		
1、資産運用収入			1、資産運用収入		
利子	160		利子	160	9
2、会費収入			2、会費収入		
一般会員	2,825,000		一般会員	2,745,000	3,196,079
賛助会員	30,000		賛助会員	20,000	30,000
3、事業収入			3、事業収入		
『比較文化研究』配布	6,000		『比較文化研究』配布	6,000	2,370
4、寄付収入			4、寄付収入		
寄付収入	0		寄付収入	0	0
5、その他	0		5、その他	0	0
当期収入合計(A)	2,861,160		当期収入合計(A)	2,771,160	3,228,458
II 支出の部			II 支出の部		
1、大会開催関連費			1、大会開催関連費		
第45回大会費	350,000		第44回大会費	350,000	350,000
2、支部運営補助費			2、支部運営補助費		
支部運営補助費	70,000		支部運営補助費	70,000	70,000
3、『研究』発行費			3、『研究』発行費		
編集補助費	550,000		編集補助費	520,000	589,099
発送費	450,000		発送費	800,000	416,847
4、会員活動補助費			4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費	150,000		若手研究者海外渡航費	150,000	0
5、提携学会交流費	100,000		5、提携学会交流費	100,000	22,869
6、管理費			6、管理費		
事務局費	15,000		事務局費	35,000	1,879
交通費	50,000		交通費	100,000	0
通信費	5,000		通信費	10,000	1,110
業務委託費	420,000		業務委託費	380,000	419,382
会議費	50,000		会議費	150,000	11,131
印刷費	10,000		印刷費	50,000	0
HP管理維持費	50,000		HP管理維持費	50,000	46,088
『会報』編集補助	27,000		『会報』編集補助	27,000	25,210
手数料(振込み等)	60,000		手数料(振込み等)	38,000	56,208
7、予備費	100,000		7、予備費	100,000	295,000
当期支出合計(B)	2,457,000		当期支出合計(B)	2,930,000	2,304,823
当期収支差額(A)-(B)	404,160		当期収支差額(A)-(B)	-158,840	923,635
前期繰越額(C)	7,083,458		前期繰越額(C)	6,159,823	6,159,823
次期繰越額(A)-(B)-	7,487,618		次期繰越額(A)-(B)-	6,000,983	7,083,458